

第2回 岡崎伝心プロジェクト記録

◆テーマ

「幅広い世代のたくさんの人に、伝統芸能の楽しさを知ってもらうための作戦を考える」

◆開催概要

日時：2025年10月19日（日）9:30—12:00

会場：岡崎市図書館交流プラザ りぶら

◆参加者

こども委員：12名 大学生ボランティア：5名 大人スタッフ：10名



[1] ジェスチャーしりとりリレー ☆進行 さとうたいが 佐藤大雅

まずはグループ対抗のゲームでスタート。しりとりの言葉をジェスチャーで次々に表現し、伝えていくリレーを行いました。途中でパスが出たり、思わず笑いが起きたりする場面もありましたが、委員と大学生が協力して一丸となり、最後までしりとりをつなぎきり、会場は大いに盛り上がりました。

[2] おかざきこども会議の愛称を決める ☆進行 かにえてつたろう 蟹江哲太郎

今回の会議にぴったりの名前を、みんなで考えました。

まずは円になって、宿題で考えてきた名前を紙に書いて1人ずつ発表。

その後、いいと思う案にシールを貼って投票しました。

決定した名前は「岡崎伝心プロジェクト～心で伝える。未来へ繋ぐ～」です。



[3] 伝統芸能の魅力について、説明・実演・体験

☆担当：岡崎市文化振興課

伝統芸能の映像を視聴し、「こんな魅力があったんだ！」と、知らなかった岡崎の一面を驚きと共に発見することができました。

圧巻だったのは、三味線の生演奏！目の前で聴く音色は、想像を遥かに超える大迫力で、参加者からは感嘆の声が上がりました。

さらに、実際に三味線に触れる貴重な体験も実施。自分で音を出してみることで、音の出し方や音階の奥深さを学び、伝統文化の面白さを肌で感じることができました。

[4] プロモーションの方法をたくさん出してみるワーク ☆進行 さとうたいが 佐藤大雅

伝統芸能に関する説明を受けたうえで、どのようなプロモーションの方法が考えられるかをブレインストーミングで出していきました。

人の意見を否定せず、どんどん意見を出し、出た意見をさらにどんどん膨らませるという自由な話し合い。たくさんの面白いアイデアが出ました。

◆宿題：プロモーションの企画書を作ってくる。